

2019年3月期 連結業績 及び 2020年3月期 連結業績予想の説明

当概要は「2019年3月期 決算短信」「2019年3月期 決算参考資料」「剰余金の配当に関するお知らせ」に基づいた説明です。

1. 2019年3月期（2018年4月～2019年3月）の連結業績の説明（前期比較）

● 通期の連結損益計算書について

	前期	当期	増減
売上高	1兆556億円	1兆2,005億円	1,448億円
売上総利益	4,035億円	5,011億円	976億円
（売上総利益率）	（38.2％）	（41.7％）	
営業利益	1,775億円	2,497億円	721億円
（営業利益率）	（16.8％）	（20.8％）	
経常利益	1,993億円	2,773億円	779億円
（経常利益率）	（18.9％）	（23.1％）	
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,395億円	1,940億円	544億円
（親会社株主に帰属 する当期純利益率）	（13.2％）	（16.2％）	

（売上高の説明）

Nintendo Switchでは、ソフトウェアの販売が好調に推移し、ハードウェアの販売拡大に貢献しました。特に『大乱闘スマッシュブラザーズ SPECIAL』が1,381万本、『ポケットモンスター Let's Go! ピカチュウ・Let's Go! イーブイ』が1,063万本、『スーパー マリオパーティ』が640万本の販売を記録するなど全世界で大ヒットとなりました。加えて、『マリオカート8 デラックス』が747万本を販売するなど、前期以前に発売したタイトルやソフトメーカー様のタイトルも好調に販売本数を伸ばし、当期のミリオンセラーのタイトル数はソフトメーカー様のタイトルを含めて23タイトルとなりました。これらの結果、当期のハードウェアの販売台数は前期比12.7%増の1,695万台、ソフトウェアの販売本数は前期比86.7%増の1億1,855万本となりました。

一方、発売から8年が経過したニンテンドー3DSでは、ハードウェアの販売台数は前期比60.2%減の255万台、ソフトウェアの販売本数は前期比62.9%減の1,322万本となりました。その他、「ニンテンドークラシックミニ ファミリーコンピュータ」及び「ニンテンドークラシックミニ スーパーファミコン」は合計595万台の販売となりました。

ゲーム専用機におけるデジタルビジネスでは、主に Nintendo Switch のパッケージ併売ソフトやダウンロード専用ソフト等による売上が好調だったことにより、デジタル売上高は前期比 95.4%増の 1,188 億円となりました。

モバイルビジネスでは、当期に配信を開始した『ドラガリアロスト』をはじめ、配信済みのアプリも国内外で多くのお客様に楽しんでいただいております。モバイル・IP 関連収入等の売上高は前期比 17.0%増の 460 億円となりました。これらの状況により、全体の売上高は前期に比べて 13.7%増加し、1 兆 2,005 億円となりました。

(売上総利益及び売上総利益率の説明)

売上総利益は、売上高の増加により前期比 24.2%増の 5,011 億円となりました。売上総利益率は、主にソフトウェアの売上構成比率が上昇したことや、利益率の高いデジタル売上高の割合が増加したことで、前期比 3.5 ポイント増の 41.7%となりました。

(営業利益及び経常利益の説明)

営業利益は、主に売上総利益が増加したため、前期比 40.6%増の 2,497 億円となりました。経常利益は、営業利益が増加したことに加え、主に 米ドル金利上昇による受取利息が増加したことにより 2,773 億円となりました。

● 当期の年間配当金について

配当方針に基づき、当期の 1 株当たりの年間配当金は 810 円となります。

2. 2020 年 3 月期 (2019 年 4 月～2020 年 3 月) の連結業績予想の説明

2020 年 3 月期 通期の連結業績予想は以下の通りです。

● 通期連結業績予想

売上高	1 兆 2,500 億円
営業利益	2,600 億円
経常利益	2,600 億円
親会社株主に帰属する当期純利益	1,800 億円

前提為替レートは、1US ドル 105 円、1 ユーロ 120 円としています。

● 通期連結販売数量予想

Nintendo Switch ハードウェア	1,800 万台
Nintendo Switch ソフトウェア	1 億 2,500 万本
ニンテンドー3DS ハードウェア	100 万台
ニンテンドー3DS ソフトウェア	500 万本

※ 各ソフトの販売数量予想は、ハードに同梱する数量を含みません。

※ 上記予想については「2019 年 3 月期 決算短信 (P13)」もご参照下さい。

今後、Nintendo Switch では4月に発売した『Nintendo Labo Toy-Con 04: VR Kit』に加え、6月に『スーパーマリオメーカー 2』を、7月に『ファイアーエムブレム 風花雪月』をそれぞれ全世界で発売します。また、人気シリーズの完全新作である『ポケットモンスター ソード・シールド』や『どうぶつの森（仮称）』、『ゼルダの伝説 夢をみる島』を年内に発売予定です。さらにソフトメーカー様からも有力なタイトルの発売が予定されており、発売済みの人気タイトルに加えて、魅力ある新規タイトルを継続的に投入することで、プラットフォームの活性化に努めます。

ニンテンドー3DSについては、豊富なソフトウェアラインアップを活かし、初めてゲーム専用機を手に入るお客様へアピールするとともに、引き続き、ハードウェアの普及基盤を活かした定番タイトルの販売に努めてまいります。

モバイルビジネスでは、『Dr. Mario World』、『Mario Kart Tour』の配信を予定しています。加えて、当期までに配信したアプリをより多くのお客様に継続して楽しんでいただくことでビジネスの拡大に努めます。

なお、配当金の予想額に関しては、現時点で予想している通りの業績になりますと、1株当たりの年間配当金は760円となります。

当該説明に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性を含んでいます。現実の結果（実際の業績及び配当予想額を含みますが、これに限られません。）は様々な要因の変化により、これら見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきくださいますようお願いいたします。